

「私とゴルフとの出会い」

燦木会幹事 鳥飼 康子



サンフランシスコ郊外に位置する17マイルドライブウェイ。それは、今から30数年前、滞在先で訪れた太平洋に面した海岸線に沿う美しいドライブウェイです。

そこで目にした、海沿いのショートホールのあるペブルビーチの美しい景観は思わず時間の経過を忘れてしまう程でした。私とゴルフとの出会いはこうして始まったのです。

国際線の乗務員として3年位経った頃、時差調整に何かないかしらと探していた時です。世界各国の観光地・美術館巡り等を楽しんでいましたが、ゴルフコースでのラウンドが数倍面白いと気付くのに、そんなに時間はかかりませんでした。それからは、世界各地の滞在先で、ゴルフ場を探してはラウンドするということが多くなりました。



17マイルドライブウェイ



ペブルビーチ・ゴルフコース

ある日、太陽が燦々と降り注ぐ、ロサンゼルスゴルフ場でプレイしていた時の事です。ふと隣のコースが目に入り、その光景に釘付けになりました。なんと腕が肩のところから片方無いというハンディキャップの人が、片手にゴルフクラブを持ちラウンドしていたのです。それも実に楽しそうに、笑顔で。その姿はとても印象的で、感動的で、今でも鮮明に脳に焼き付いています。

ゴルフは人それぞれに楽しめるスポーツ、そして息の長いスポーツです。これからも身体に気を付けて、永〜くプレイを続けて行きたいと思えます。

燦木会には、元気で長くゴルフを楽しんでいらっしゃる方が多いので、お手本にしたいと思えます。人生の中で、ゴルフというスポーツに巡り会えたことに感謝しています。

webで会報ほかをダウンロードできます。昔の燦木会ホームページも復活させました
<http://s-min.com/sanmoku/>ここから会報・規約その他をダウンロードできます。ご利用ください。

会員名簿

(34名・五十音順・平成29年1月現在)

青木 伸一	石井寅三郎	石川 晃	伊藤 侑秋	漆畑 芳雄	海老沢 均	小川 和朗
萩原 博	川上 敏夫	斉藤 哲雄	佐川 静夫	塩田 清	篠 正美	下嶋 義範
高尾 武	滝川 麗子	玉木 克彦	鳥飼 康子	中川 彊	中野 弘	西岡 美鈴
西岡 守彦	林 忠夫	船橋 國則	三橋 真弓	三橋 弘道	宮田 美重	森岡 茂孝
山澤 興英	山田 英明	横山 昭三	吉井 俊郎	米田 嘉明	米田 博一	

会長／石井寅三郎 幹事／中川 彊／鳥飼康子／三橋弘道／斉藤哲雄 名誉顧問／後藤至彦

ご挨拶

燦木会幹事 三橋弘道



燦木会会員の皆様、明けましておめでとうございます。
 昨年暮れ、幹事の皆様から「幹事補佐」のご指名を受けました、元飛ばし屋一間違えましたー“元飛び屋”の三橋です。

幹事の仕事の大変さは良く認識しておりますが、まず、燦木会のスムーズな運営のため、雑務お手伝いとして走り回りたいと考えています。

実は、ここ2年程、ゴルフの劣化（飛距離の減少、スコアの激増）に悩んできました。道具を買い替え、個人レッスンにも通ってききましたが、如何ともし難く、加齢による劣化と諦めていました。ところが、諸先輩方の加齢ならぬ華麗なゴルフを目の当たりし、咲くものならもう一花咲かせようと決意した次第です。

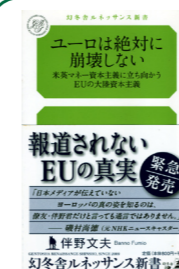
体力の強化はできなくとも現状維持に努め、気力の衰えは、更にゴルフを好きになることでカバーしたいと思っております。どうかよろしくご指導の程、お願い申し上げます。



華麗?



カレイ(鰈)?



新刊書紹介「ユーロは絶対に崩壊しない」燦木会元会員・伴野文雄著

腰を痛められてここ数年ゴルフから遠ざかっている、元燦木会会員・白水会会長の伴野さんが、82歳にしてハードな新刊を昨年秋に刊行されました。NHK時代はもちろん、現在も世界情勢の情報収集・分析に余念のない氏ならではの視点と切り口です。論点と文章は簡明で深く、エピソードも豊富。ありがちな学問的？硬さがなく読みやすく理解しやすい一冊です。ぜひご一読を。 幻冬社新書 800円

健康第一

燦木会幹事 斉藤哲雄



昨年はこれまで体験したことのない大病を思い大変な年でした。5ヶ月間で3度入院し2度の手術を受けました。3ヶ月以上寝たきりで痛みを耐える日々。今思い出しても身震いが出るようです。

それでも10ヶ月かけて何とかゴルフ(らしきもの?)が出来るまで回復しました。病中、激励・叱咤・忠告いただいた皆様に深謝するとともに、つくづく健康のありがたみを実感しています。

年齢を重ねるにつれ、健康・元気はまさにひと様々で、年齢ではなく個々人の状況に係っていると感じます。高齢でなお元気に活動するには目標というか、やるべきことが必要かと思われれます。私にとって読書、音楽、ゴルフがそれで、しかし病を得ると読書以外は出来なくなりました。ゴルフは当然として、音楽を聴くことにも多大の体力が必要なことを改めて認識しました。

現在、自分の体に非常に慎重に暮らしていますが、皆様におかれましても、くれぐれもお体大切に、まだまだゴルフを始めとする人生を共に楽しみたいと痛感しております。